

## 呼吸器外科・麻酔科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 肺切除術中の輸液量と術後の急性腎機能障害に関する検討

【研究機関】 北海道大学病院循環器外科・麻酔科

【研究責任者】 森本 裕二 （麻酔科・科長）

### 【研究の目的】

肺の切除の手術の際、手術後に肺水腫などの呼吸器障害が起きないように輸液の量を少なめにすることが良いと考えられていました。その一方、輸液を減らすことによって、尿量が減ったり腎臓への循環血液量が減ったりして、腎臓の機能が落ちる可能性が指摘されてきました。そこでどのくらいの輸液量が手術後の肺水腫などの呼吸器障害や腎機能障害を起こさない適切な量かを調べております。

この研究では、過去に当院において肺切除術を受けた患者さんの手術中の輸液療法と腎機能への関係を明らかにして、手術成績の向上に役立てることを目的としています。

### 【研究の方法】

#### ●対象となる患者さん

平成 22 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日の間に当院において肺切除術を受けた 20 歳以上の方

#### ●利用するカルテ情報

- ①基本情報：年齢、性別、身長、体重
- ②疾患情報：疾患名、手術名、治療内容
- ③血液検査結果：腎機能、肝機能、電解質、血算、血液凝固系、動脈血液ガス分析
- ④画像検査所見：CT、MRI、心エコー
- ⑤手術（麻酔）前の合併症の有無：糖尿病、高血圧、腎機能障害など
- ⑤手術（麻酔）中・集中治療室・病棟での血圧、中心静脈圧、末梢動脈血酸素飽和度、呼気二酸化炭素濃度、体温
- ⑥手術・麻酔記録・看護記録からの情報：麻酔時間、手術時間、出血量、分離肺換気時間、輸液・輸血の種類と量、尿量、麻酔法、その他使用薬物
- ⑦集中治療記録や看護記録からの情報：術後酸素投与または気管挿管時間、集中治療入室日数、術後在院日数、術後合併症の有無

**【個人情報の取り扱い】**

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。  
また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

**【問い合わせ先】**

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院麻酔科 担当医師 森本 裕二

電話 011-716-1161(内線 5982) FAX 011-706-7861